

愛知県義務教育問題研究協議会の協議題について

このことについて、別紙資料に基づき報告します。

平成27年4月14日

義務教育課

## 平成27年度 愛知県義務教育問題研究協議会協議題（案）

### <協議題> 家庭・地域との連携・協働を図る学校からの情報発信の在り方について

#### 1 設定理由

##### （現状）

現在、本県では、学校が家庭や地域と連携した開かれた学校づくりの推進に向けて、Web ページや学校便り、授業公開などを通して、その取組を積極的に情報発信している。

しかしながら、学校が所有する情報を SNS やメールなどの私的なデジタルツールを使って連絡してしまったり、児童生徒の個人情報や安易にブログに掲載したりするなどといったトラブルが生じており、学校の信用問題に発展しかねない。

また、保護者や地域住民の学校教育への参画に支えられて特色ある学校づくりの進んでいるところもあれば、保護者や地域住民の過度の依存に疲弊している学校もある。このことは、保護者や地域住民との共有する情報量に左右されているのではないだろうか。

学校からの情報発信が、家庭や地域との連携・協働の出発点であり、学校は自らが発信する情報の責任の大きさを十分に認識しなければならない。

##### （社会の要請）

教育再生実行会議は第六次提言の中で、学校は地域社会の将来を担う人材を育てる中核的な場所としての役割をもった「地域とともにある学校」となることを求めている。しかしながら、児童生徒に求められる資質や能力は多様な人々との関わり、様々な体験を重ねる中で育まれていくものであり、学校だけで育成できるものではない。家庭や地域を巡る状況が急速に変化を続ける中、学校が児童生徒の抱える課題を明らかにし、課題解決に取り組み教育目標を達成していくには、家庭や地域との連携・協働を積極的に進めていかなければならない。

学校には多種多様な情報が届けられ、その一つ一つに対応していくことは、ますます困難となっている。学校はこれらの情報を、状況に応じて家庭や地域に分かりやすく伝え、学校の教育活動を支えてもらうことが大切である。

#### 2 検討すべき協議内容

学校からの情報発信は、学校の教育目標の実現に大きく関与することであり、家庭や地域との連携・協働を図るためには不可欠である。

そこで、学校が保有する情報の重要性を再認識し、学校が家庭や地域とより一層連携・協働するためには、どのように情報を処理し活用していくかが問われることとなる。

本協議会では、こうした情報の活用とその発信の在り方について明らかとしていく。

学校が家庭・地域との連携をより深め、協働を図るために必要な情報発信の工夫とは。

地域ぐるみで児童生徒を育むにあたり、学校の情報発信が果たす役割とは。